平成28年度事業報告

平成28年度においては、JR各社のご助成と鉄道弘済会のご援助により計画した事業を 予定どおり実施することができました。

各事業の概況は次のとおりです。

1. 低利融資事業 (第一種社会福祉事業)

身障者の生活を維持向上させるため、経済的に援助することを目的として、昭和27年 に開始されました。

当時、国鉄から200万円、鉄道弘済会から400万円のご寄付をいただき資金が設けられました。その後、鉄道弘済会からの特別助成等により、現在資金は5,904万円となっております

なお、前年同期に比較して貸付件数は同数、金額では710千円の減となっております。

2. 更生相談事業(第二種社会福祉事業)

中央及び地方協会が相談に応じた実績は下表の通りである。

方法・内容	融資	生活	職業	年金等	医療	補装具	就学	共済他	計
面接	0	0	0	11	6	53	0	8	78
通信	1	75	1	22	4	35	0	138	276
訪問	0	57	0	8	4	6	0	24	99
計	1	132	1	41	14	94	0	170	453

(注) 取扱期間: 平成28年4月1日~平成29年3月31日 前年同期に比べ332件の減となっており、相談件数の合計は453件でした。 これは、主に西日本鉄道身障者協会の共済他(通信)が減少した結果です。

3. 顕彰事業(公益を目的とした事業)

(1) 身障者下山賞表彰は、昭和24年故下山国鉄総裁のご遺族から贈られた寄付金をもとに、 国鉄の業務上の事故により身体に障害を負った者の自立の努力による功績を顕彰するため に設けられたものであります。

当年度は、第67回を迎え、10月21日弘済会館(東京都千代田区麹町)において7名の方々の表彰を行いました。

なお、受賞者には協会から賞状と記念品が贈られたほか、JR各社から記念品が、また 鉄道弘済会から記念品と賞金が贈られました。

(敬称略)

北海道鉄道身障者協会 波間 茂夫 84歳 右下腿切断 公務傷病 東日本鉄道身障者協会 田中 幹愛 82歳 右足関節切断 業務災害 東日本鉄道身障者協会 舘野 髙夫 81歳 左下腿1/2以上切断 業務災害 東日本鉄道身障者協会 伊澤 嘉行 78歳 右前腕切断 左膝・足関節硬直、 左第1・2足指切断 業務災害

東日本東北鉄道身障者協会 佐藤 房雄 73歳 左下腿切断 業務災害 西日本鉄道身障者協会 今中 幸雄 86歳 右下腿切断 公務傷病 九州鉄道身障者協会 高尾 宗宏 77歳 左下腿切断 (関節離断) 業務災害

(2) 特别功労賞

平成14年、鉄道身障者福祉協会創立50周年記念として、地方協会の発展に特段に功労のあった会長又は地方協会三役として永きにわたり会長を支え、会長に準ずるような功労のあった者等を表彰する制度を設けた。

平成28年度は、該当者なし

(3) 鉄道90年記念奨励賞の表彰は、昭和37年鉄道開業90周年の記念事業として設けられた顕彰行事で、当時国鉄から300万円、鉄道弘済会から200万円のご寄付を頂き、これを基金として創設されました。

現在基金は1、133万円となっております。

当年度は、第54回を迎え次の方々が受賞されました。

また、席上「鉄道90年記念奨励賞」に該当した8名の方々の発表を行い、平成2年度から協会運営に功績のあった者の表彰である「鉄道身障者福祉協会 功労者」表彰では8名の受彰者の発表を行った。

今年の受賞者は、次の方々ですが、第4号懸賞作品の課題は、【進む高齢化と障害者-「皆が過ごしやすい社会づくり」について考えてみよう-】で応募総数は108篇でした。入賞と審査員奨励賞の作品は、当協会発行の身障者福祉専門誌「リハビリテーション」平成28年11月号(No. 588)に掲載しました。

第54回鉄道90年記念奨励賞受賞の選考

地方協会から推薦を受けた第1号職業開拓、第3号善行・篤行及び第4号の懸賞作品について、平成28年8月23日開催の選考委員会において、次の方々を受賞者と決定しました。

(敬称略)

(3)(1)(1)					
種別	氏名	年齢	障害状況	職業	協会名
第 1 号職業開拓	十川陸二	86歳	右大腿切断	無職	九州鉄道身障者協会
第 3 号 善行・篤行	佐々木 昭助	86歳	右下腿切断	無職	東日本東北鉄道身障者協会
第 3 号 善行・篤行	東海林 力	71歳	右足首関節強直	無職	東日本東北鉄道身障者協会

第4号 懸賞作品課題 【進む高齢化と障害者一「皆が過ごしやすい社会づくり」について考えてみよう一】

(敬称略)

順位	氏名		年齢	障害状況	職業	居住地
第1位	徳 田	有美	43歳	パニック障害	教 員	岡山県
第2位	井上	奈美江	4 2歳	感音性難聴に よる両耳全聾	主 婦	広島県
第3位	成嶋	徹	3 2歳	右足・右手短縮 マフッチ症候群	会社員	山梨県
第3位	秋山	瑞葉	2 5歳		会社員	香川県
審査員 奨励賞	竹内	しゅう	1 3歳		中学生	東京都

4. 出版事業

当協会の発行する身障者福祉専門誌「リハビリテーション」は昭和28年に創刊して当年度末で591号を数えます。発行回数は年10回で毎号あたり3,500部発行している。なお、公益財団法人鉄道弘済会のご援助をいただき、全国の施設・JR各本社及び主要駅等にも贈呈を行っている。

平成 28年 4月号 (No. 582) 障害者差別解消法 ②

平成28年 5月号 (No. 583) 私のしょうがい ― 暮らしとともに―(1)

平成28年 6月号 (No. 584) 私のしょうがい ―暮らしとともに―②

平成28年 7月号 (No. 585) 私のしょうがい ―暮らしとともに―③

平成28年8・9月号 (No. 586) 災害 (防災・減災) について考えてみよう—①

平成28年10月号 (No. 587) 災害 (防災・減災) について考えてみよう-2

平成28年11月号 (No. 588) 懸賞作品特集

【進む高齢化と障害者-「皆が過ごしやすい社会づくり」について考えてみよう-】

平成28年12月号 (No. 589) 「ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業」 で研修生が感じたこと―①

平成29年 1月号 (No. 590) 「ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業」 で研修生が感じたこと—②

平成29年2・3月号 (No. 591) 福祉機器の潮流

5. 義肢製作費補助事業

鉄道従事者に肢切断による公務障害者が多いことから、鉄道弘済会では義肢を製作する場合に障害者本人が負担する経費を補助する制度を設けていましたが、当協会の会員の利用が多いことなどから昭和62年に制度の移管を受けたものです。当年度中の取扱件数は37件で、給与した金額は522千円となっております。これは前年度と比較して件数は7件の増加で、金額は63千円の増加となっております。

6. 共済事業

現在基金は、45, 077千円です。平成29年3月末日現在の給付実績は件数で57件、金額で1, 010千円。前年同期比では、件数で15件の減、給付金額で290千円の減となっております。

7. JR会社增収協力活動

かねてより当協会会員に対し、JR会社への増収協力を呼びかけておりますが、地方協会でも 工夫を重ね旅行会を実施する等努力をしております。

当年度中の実績は次のとおりです。

(単位:千円)

期別	件数	延人員	金額
上期分	799	1, 329	15, 048
下期分	722	1, 343	17, 527
28年度計(A)	1, 521	2, 672	32, 575
27年度計(B)	1,640	3, 428	39, 525
增減(A)-(B)	△119	△756	△6, 950

資金収支計算書

(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

		勘定科目	予算	決算	増 減
事	収	事業活動収入計	50,409	47,363	3,046
業活	支	事業活動支出計	51,346	50,660	686
動	活動	資金収支差額	△ 937	△ 3,297	2,360
施	収	施設整備等収入計	0	0	0
設整備等	支	施設整備等支出計	500	486	14
等	施記	投整備等資金収支差額	△ 500	△ 486	△ 14
	収	その他の活動収入計	7,200	0	7,200
その他	支	その他の活動支出計	7,200	0	7,200
וַ	その	他の活動資金収支差額	0	0	0
		予備費支出	440	0	440
		当期資金収支差額合計	△ 1,877	△ 3,783	1,906
		前期末支払資金残高	115,075	165,750	△ 50,675
		当期末支払資金残高	113,198	161,967	△ 48,769

事業活動計算書

(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

貸借対照表

(平成29年3月31日)

		勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
サー	収益	サービス活動収益計	42,918	47,586	△ 4,668
ビスエ	費用	サービス活動費用計	50,730	47,071	3,659
活動	サ	ービス活動増減差額	△ 7,812	515	△ 8,327
サー	収益	サービス活動外収益	4,445	4,408	37
ビス活	費用	サービス活動外費用計	123	2,782	△ 2,659
動外	サ	ービス活動外増減差額	4,322	1,626	2,696
		経常増減差額	△ 3,490	2,141	△ 5,631
特	収益	特別収益計	59,040	33,710	25,330
別増	費用	特別費用計			0
減		特別増減差額	59,040	33,710	25,330
	当其	胡活動増減差額	55,550	35,851	19,699
	前	期繰越活動増減差額	60,675	24,088	36,587
繰越	当其	期末繰越活動増減差額	116,225	59,939	56,286
活動		基本金取崩額	517	736	△ 219
	次	期繰越活動増減差額	116,742	60,675	56,067

勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	164,007	166,973	△ 2,966
固定資産	11,015	10,722	293
資産の部合計	175,022	177,695	△ 2,673
流動負債	2,741	1,924	817
固定負債	0	0	0
負債の部合計	2,741	1,924	817
基本金	55,538	115,095	△ 59,557
次期繰越活動増減差額	116,742	60,675	56,067
(うち当期活動増減差額)	55,549	35,851	19,698
純資産の部合計	172,280	175,770	△ 3,490
負債及び純資産の部合詞	175,022	177,695	△ 2,673

注1)共済会計(特別会計)と合算。

注3) 単位: 千円

注2)千円未満切捨て

財産目録(総括)

(平成28年3月31日)

社福) 鉄道身障者福祉協会

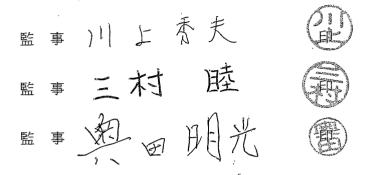
(単位:千円)

(在供) 就但身障有偏性協会 (在) 股惠利用	1				_\	(単位:十円)	
貸借対照表科目	場所•物量等	取得年度	使用目的等	取得価格	減価償却 累計額	貸借対照表価格 法人合計	
					N 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	伝八日前	
1. 流動資産							
現金預金							
現金			運営資金			15	
預金			L. Ma Mr. A. A I			102,82	
普通預金			事業資金合計			102,82	
普/三菱東京UFJ90978	三菱東京UFJ銀行		本部事業資金			6,61	
普/三井住友信託3473773 普/三井住友0618475	三井住友信託銀行 三井住友銀行		本部事業資金			7,36	
			融資事業資金			41,61	
普/三井住友信託3464339 普/みずほ 1201739	三井住友信託銀行みずほ銀行		融資事業資金 共済事業資金			1,97 5,35	
普/みずは1201739 普/三井住友信託3206665			共済事業資金			5,33	
三菱東京UFJ 76570	三菱東京UFJ		顕彰事業資金			68	
三菱東京UFJ 76596	三菱東京UFJ		出版事業資金			9	
三菱東京UFJ0077275	三菱東京UFJ		更生事業資金			33,87	
三井住友信託3429015	三井住友信託銀行		本部事業資金			2	
二月			个时子未真业			2	
振替預金	ゆうちょ銀行		出版事業資金				
小 計						102,97	
有価証券						59,80	
第304回大阪府公募公債			更生事業資金			4,98	
第60回利付国庫債			融資事業資金			4,99	
第5回 大阪市公債			融資事業資金			10,06	
第335回大阪府公債			共済事業			9,98	
第62回利付国庫債券		_	共済事業			9,99	
第152回共同発行市場			共済事業			10,00	
利付国庫債券(20年)第60 事業未収金	<u> </u>		共済事業			9,78	
						97	
<u>未収金</u> 仮払金						27 39	
貸付金						59 54	
美 口亚						J4.	
流動資産合計	•	L	•			164,000	
2. 固定資産							
(1) 基本財産		1	1	1	1		
		-					
建物						10.40	
基本財産合計						10,46	
<mark>(2)その他の固定資産</mark> 土地			1	I	I		
構築物							
器具及び備品	冨士ゼロックス	2016年9日	事務処理等	486	56	43	
ソフトウエア	日通会計システム	2013年3月		682		12	
その他の固定資産合計	日地芸町マババム	2010 0/1	五时之生	002	001	55	
固定資産合計						11,01	
資産の部合計						175,01	
I 負債の部						,	
1. 流動負債							
短期運営資金借入金							
事業未払金							
その他の未払金							
未払費用	JR西日本メンテック		電気経費等			9	
預り金		1	1				
職員預り金							
前受収益	JR九州29年度分		事業資金			2,65	
法私在生入 到						0.74	
流動負債合計2.固定負債						2,74	
設備資金借入金							
長期運営資金借入金							
世界度為其金值八並 固定負債合計							
負債の部合計						2,74	
<u> </u>						172,27	
左 刀 杷 貝 生					1	114,41	

監査報告書

平成29年5月10日

社会福祉法人 鉄道身障者福祉協会 理 事 長 辻 等 殿



私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度の理事の職務執行状況について監査を行いました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等(事業報告及びその附属明細書)について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係 書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- ① 事業報告等の監査結果
 - 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な 事実は認められません。
- ② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況等、全ての重大な点において適正に示しているものと認めます。